

2018年6月29日  
公益財団法人イオン環境財団

## ローガー湖周辺の森の水源涵養機能<sup>\*</sup>の回復を目指して 7/7(土)第6回「ミャンマー ヤンゴン植樹」を実施 1,300名の皆さまとともに13,000本を植樹します

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役）は7月7日（土）、ミャンマー連邦共和国（以下 ミャンマー）ヤンゴン市郊外のローガー湖周辺において、6回目となる「ミャンマー ヤンゴン植樹」を実施します。

当財団は、ヤンゴン市民や近隣住民の方々の生活用水として活用されているフージー湖ならびにローガー湖周辺の森の水源涵養機能の回復を目指し、2013年からの5年間で約4,900名のボランティアの皆さまと累計47,000本の植樹を実施してきました。6年計画の最終年となる本年は、植樹活動を通じて育まれた豊かな水源が、引き続き地域の方々から守られ続けることを願い、地域に自生する樹種8種類、計13,000本の苗木を、日本とミャンマーのボランティア1,300名の皆さまとともに植樹します。これにより、同国における累計植樹本数は60,000本となります。

当財団はこれからも、いのちあふれる美しい自然を未来の子どもたちに引き継ぐため植樹活動をはじめとする環境活動に積極的に取り組んでまいります。

### 記

日 時：2018年7月7日（土）9：00～10：30

場 所：ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市ローガー湖周辺

参加人数：1,300名

（ミャンマーのボランティア850名、日本のボランティア450名）

植樹本数：13,000本

樹 種：8種（マホガニー、オリーブ、モンキーポッド、ゴールデンシャワー  
ウドンゲ、カイエー、チーク、テリハボク）

主 催：ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市開発委員会、公益財団法人イオン環境財団

協 力：イオンオレンジ株式会社、イオンマイクロファイナンスミャンマー株式会社  
イオンモール株式会社

主な出席者：ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン管区首相                   ピョー・ミン・テイン 様  
（予定） 在ミャンマー日本国大使館 特命全権大使                   丸山 市郎 様  
公益財団法人イオン環境財団 理事                                       岡田 元也  
（イオン株式会社 代表執行役社長 グループCEO）

以上

※森林の土壌が降水を貯留し、河川や湖沼に流れ込む水量を平準化して洪水や渇水を防ぐ機能のこと

## ご参考

### 【公益財団法人イオン環境財団について】

当財団は「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、1990年に設立。以来、環境活動に取り組む団体への助成・支援、国内外での植樹活動、生物多様性の保全などに貢献した団体・個人への顕彰、環境人材育成のための環境教育を主な事業として、さまざまな環境・社会貢献活動に継続し取り組んでいます。

<公益財団法人イオン環境財団ホームページ> <http://www.aeon.info/ef/>

### 【ミャンマーにおけるイオンの環境・社会貢献活動について】

#### ■「ミャンマー ヤンゴン植樹」

公益財団法人イオン環境財団は、2013年～2015年の3年間、ヤンゴン市郊外にあるフージー湖で、さらに2016年～2017年の2年間、同市郊外のローガー湖でミャンマーと日本のボランティアのべ4,900名の皆さまと累計47,000本を植樹しました。



2013年フージー湖



2017年ローガー湖

#### ■学校建設支援事業

「平和な社会の実現には基礎教育の充実が不可欠」という想いのもと、公益財団法人イオンワンパーセントクラブは2012年より、ミャンマーの学校建設を支援しています。全国からお寄せいただいた募金と同財団からの拠出金により、これまで計49校の建設を支援しました。



日本からの交流会参加者と縄とびをする子どもたち

#### ■ティーンエイジ アンバサダー（高校生交流）事業

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、1990年より日本と海外の高校生が互いの国を訪問し、相互交流することで価値観の多様性を学ぶ「ティーンエイジアンバサダー事業」を行っています。これまでにミャンマーを含む18カ国2,470名が参加しました。2009年には同窓会を実施し、国々をつなぐ友好の輪が広がっています。

#### ■「イオン・ユニセフ セーフウォーターキャンペーン」

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは2010年より、ミャンマー、カンボジアラオスの子どもたちへ安全な水を届けるために、子どもたちがくらす町や村に給水施設を設置する支援を行っています。全国からお寄せいただいた募金と同財団からの拠出金が、公益財団法人日本ユニセフ協会を通じ、安全な水の供給や給水施設の設置に役立てられています。2018年3月時点で約50万9,000人が安全な水を使えるようになりました。

#### ■イオンの奨学金「イオン スカラシップ」

公益財団法人イオンワンパーセントクラブは、給付型奨学金制度「イオン スカラシップ」を通じ、アジアの学生および日本で学ぶアジアからの私費留学生の夢の実現を支援しています。ミャンマーにおいては、2014年度よりヤンゴン経済大学とヤンゴン外国語大学への支援を開始し、これまでのべ357名の同国学生に支援を行っています。